令和５年度

新潟県の農林水産業

（資料編：森林・林業）

令和６年７月

新　　潟　　県

利用者のために

本書は、別冊「新潟県の農林水産業」を補完するための森林･林業･木材産業に関する資料集です。可能な限り令和５年度の動向について取りまとめていますが、令和５年数値がない場合は最新値を使用しています。

また、本書で使用した統計の主要用語の定義等は以下のとおりです。

1　2020 年農林業センサス（令和２年２月１日現在)

農林業センサスは、我が国農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、５年ごとに行う調査です。

(1) 林業経営体：①又は②のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

① 権原に基づいて育林又は伐採（立木竹のみを譲り受けてする伐採を除く。）を行うことができる山林（以下「保有山林」という。）の面積が３ha 以上の規模の林業（調査実施年を計画期間に含む「森林経営計画」を策定している者又は調査期日前５年間に継続して林業を行い、育林若しくは伐採を実施した者に限る。）

② 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業（ただし、素材生産については、調査期日前１年間に 200 ㎥以上の素材を生産した者に限る。）

(2) 森 林 組 合：森林組合法（昭和 53 年法律第 36 号）に基づき組織された組合で、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会が該当する。

(3) 保 有 山 林：自らが林業経営に利用できる（している）山林をいう。
保有山林＝所有山林－貸付山林＋借入山林

(4) 用　　材：樹種を問わず、製材用丸太、パルプ用材、合板用材、電柱用材、土木用材、坑木、まくら木、農用等に使われる木材をいう。

(5) 特用林産物：保有山林から生産又は採取し販売したもののうち、用材、ほだ木用原木を除く林産物をいう。主な特用林産物は、薪炭原木、竹材、樹実、樹皮、葉、樹根、天然性のきのこやたけのこなどである。

(6) 間　　伐：林木を健全に成長させるため、立木密度を調整し、劣勢木、不用木など林木の一部を伐採することをいう。

(7) 林　　家：調査期日現在の保有山林面積が１ha 以上の世帯をいう。

2　林業産出額

林業産出額は、林業生産の実態を金額で評価することにより明らかにし、林業行政の推進等のための資料を整備することを目的として、農林水産省が推計する。

(1) 木材生産とは、伐木から用材（製材や木材チップ用等）に供される素材を生産することをいい、パルプ工場に入荷されるパルプ用素材を含む。

(2) 製材用素材等とは、用材として供される素材のうち、輸出丸太及び燃料用チップ素材を除いたものをいう。

(3) 薪炭生産とは、伐木からまき及び木炭を生産することをいう。

(4) 栽培きのこ類生産とは、ほだ木又は培養基（おがくず等）を用いてきのこ類を生産することをいう。

(5) 林野副産物採取とは、山林から天然のまつたけや生うるし等の林産物を採取することをいう。

3　森林組合一斉調査

森林組合一斉調査は、森林組合及び生産森林組合の組織、財務及び事業全般にわたる実態を林野庁が調査する。毎年度末の 3 月 31 日現在設立されている組合のうち、年度内に事業を行った森林組合等を調査の対象とする。財務及び事業は年度の決算に従って、また組織に関する事項は 3 月 31 日現在の状況で把握する。

4　特用林産物生産統計調査

特用林産物生産統計調査は、統計法に定められている一般統計調査として、林野庁の依頼により新潟県農林水産部林政課が実施する。調査は県地域機関、市町村を通じて聞き取り調査で行った。

(1) きのこ類　　主に販売を目的とした生産量・生産者数等
(2) きのこ以外　　木炭・山菜等の生産量・生産者数等

5　木材統計調査

素材の生産、木材製品の生産出荷等に関する実態を明らかにし、林業行政の資料に活用することを目的として、農林水産省が推計する。

(1) 素材とは、用材（薪炭材及びしいたけ原木を除く。）に供される丸太及びそま角をいい、輸入木材にあっては、大中角、盤及びその他の半製品を含めた。
(2) 製材とは、製材機を用いて、素材から板類、ひき割類又はひき角類（以下「製材品」という。）を生産することをいう。
(3) 合板とは、単板（心板にあっては小角材を含む。）3 枚以上を主としてその繊維方向を互いにほぼ直角にして、接着したものをいう。
(4) 木材チップとは、素材、工場残材、林地残材及び解体材・廃材からチッパー等を用いて生産したパルプ、紙、繊維板、削片板等を原料とする木材の小削片をいう。

目　　次

第１　新潟県森林・林業をめぐる情勢
１　森林・林業の主要指標 …… ３
２　国際的な情勢 …… ５
(1)　地球温暖化対策に関する動向 …… ５
(2)　世界の森林資源 …… ６
(3)　木材需給の動向 …… ７
３　国内情勢 …… ８
(1)　森林・林業の状況 …… ８
(2)　木材生産・利用の状況 …… １０

第２　森林の有する多面的機能の発揮へ向けた動き
１　新潟県森林・林業の全国的地位 …… １５
(1)　森林資源の概要 …… １５
(2)　林業の基礎指標 …… １５
(3)　森林資源の現状 …… １６
２　健全な森林の育成 …… １９
(1)　市町村森林整備計画 …… １９
(2)　森林経営計画樹立面積 …… １９
(3)　森林整備地域活動支援交付金実施状況 …… １９
(4)　森林整備の動き …… ２０
(5)　間伐の動き …… ２２
(6)　種苗育種 …… ２３
(7)　林内路網の整備 …… ２３
３　森林の保全 …… ２４
(1)　保安林の整備 …… ２４
(2)　治山事業による保全 …… ２４
(3)　林地開発 …… ２６
(4)　森林保護 …… ２７
(5)　環境保全林の整備状況…… ２８

第３　林業の持続的かつ健全な発展へ向けた動き
１　県産材の安定供給体制づくり …… ３１
(1)　林業経営 …… ３１
(2)　木材需給 …… ３２
(3)　素材生産 …… ３３
(4)　木材価格と流通 …… ３４

2　県産材の利用促進 …… ３６
(1)　木材関連産業 …… ３６
(2)　住宅着工 …… ３７
(3)　県産材利用 …… ３８
3　意欲ある林業担い手の育成 …… ４０
(1)　林業担い手の育成 …… ４０
(2)　林業労働 …… ４１
(3)　林業関連団体 …… ４３
(4)　労働安全衛生管理 …… ４５
(5)　林業金融 …… ４６
(6)　林業構造の改善 …… ４７
(7)　入会資源の総合活用 …… ４９
4　競争力あるきのこ等の産地づくり …… ５０
(1)　生産 …… ５０
(2)　きのこ類の流通 …… ５１
(3)　特用林産の振興策 …… ５２